

クヤクイン

怪異シート



怪異名：

碧の海

属性：
現象

破滅者／元凶：

楽ヶ浜地区住人

存在点

初期値

現在値

基本攻撃

【精神】あるいは【肉体】

▼ 原型

▼ 穢れ

	名称	タイミング	対象	回避／禁則
水	【霧の向こう側】	後勢	怪異	なし
	怪異のレベルがダイス1つ分増加する。			
群衆	【湧き出す増援】	後勢	怪異	なし
	怪異の存在点がダイス〔怪異のレベル〕個分増加する。その後、怪異のレベルが1つ上がる。			
群衆	【一糸乱れぬ統率】	先制	全員	頭脳
	主人公は〔怪異のレベル〕点のダメージを受ける。回避には〔怪異のレベル〕点のペナルティを受ける。			
火	【静かに漂う燐光】	常時	怪異	なし
	怪異に攻撃した主人公は〔怪異のレベル〕点のダメージを受ける。			
	名称	タイミング	対象	回避／禁則

設定：

「楽園」あるいは「極楽浄土」に繋がるとされる「楽ヶ浜」には、古くから不思議な言い伝えがあった。月も風もない夜、海が美しい碧に輝くことがある。それは、極楽への入り口が開いた証なのだという――。

楽ヶ浜に存在するのは、人々の信仰により形作られた異世界である。人間はエメラルドグリーンの海に沈むと、海と同じ色に輝く、透き通ったゲル状の存在となる。それは人型をし、自律して活動するものの、意識を海と共有した群体だ。

この怪異に飲まれた者は、自らが新たな怪異を生み出すことすらない。得られるのは、飢えも、疲れも、欲望も、感情の起伏すらもない穏やかな生――それは確かに、ある種の楽園なのかもしれない。